

第81回 理事会 議事録

1. 日 時 令和4年11月29日(火) 11時00分～11時50分
2. 場 所 WEB・対面方式 ホスト：アルカディア市ヶ谷
3. 出席者
- | | | | |
|-------|-------|--------|--|
| 会 長 | 井上 圭三 | | |
| 副 会 長 | 楠 文代 | 中村 明弘 | |
| 常務理事 | 田中 芳夫 | 越前 宏俊 | |
| | 浜岡 純治 | 加留部 善晴 | |
| 理 事 | 杉林 堅次 | 亀井 美和子 | |
| | 元木 和幸 | 奥 直人 | |
| | 引田 弘道 | 神野 透人 | |
| | 中村 恵 | 北川 裕之 | |
| 監 事 | 富田 基郎 | 市川 厚 | |
| 参 与 | 乾 賢一 | 本間 浩 | |

理事現在数	16名
出席理事数	15名
会場出席	13名
WEB出席	2名

4. 議事の経過の要領及びその結果

定款の規定に基づき井上会長が議長に就任し、理事現在数16名に対し、本日の出席理事は15名となり、定款で定める定足数を満たしており、本理事会が有効に成立していることが宣言された。また、議事録署名人として出席理事から、杉林理事を指名し、事務報告の後、議案の審議に入った。

(1) 前回議事録の確認について

前回議事録(第80回理事会：令和4年11月8日開催)について、全会一致でこれを承認した。

(2) 会長及び副会長の職務執行状況の報告について

井上会長から、定款第21条第5項(会長及び副会長の職務執行状況)に基づく報告として、「資料3」を提出した旨の説明があり、次いで、

小池事務局長から内容について報告がなされた後、協議の結果これを了承した。

(3) 第2回実務実習検討委員会の報告について

井上会長から、国公立大学薬学部長（科長・学長）会議が10月21日付で日本製薬団体連合会会長宛に要望した「薬学生の就職・採用活動に関するお願い」に関連し、協会として対応を協議することとし、検討の場として「実務実習検討委員会」の下で行うことになった経緯等について説明があった。

次いで、中村副会長（実務実習検討委員会委員長）から、「資料4」に基づき本委員会の検討結果について以下の報告があった。

- ・実務実習の期間中に、インターンシップを理由に欠席している学生が見られる等、実務実習の実施に大きな影響が出ている。また、学生にとっては、インターンシップが優先され、卒業研究への欠席が見られる等の問題がある。
- ・「薬学生の就職・採用活動に関するお願い」（要望書）の扱いは、国公立大学共通の問題として、足並みを揃えた対応が必要である。
- ・要望先として、日本製薬団体連合会に加え、日本薬剤師会、日本病院薬剤師会、日本チェーンドラッグストア協会、日本保険薬局協会を対象に加えたかどうか。

以上の報告を踏まえ、協会としても国公立大学共通の課題と認識し、今後の取り扱いについては、全国薬科大学長・薬学部長会議に検討を依頼することとした。

(4) 令和4年度第2回通常総会の会議次第について

井上会長から、「資料5」に基づき、午後開催される第2回通常総会の会議次第について説明があった。

(5) 薬学教育協議会について

本間参与（薬学教育協議会代表理事）から、「資料6」に基づき「2023（令和5）年度薬学実務実習広報用ポスター」の作成概要及び本協会に対し後援名義の申請があり、これを承認した。

また、「薬系大学卒業生・大学院修了者就職動向調査の集計報告（令和4年3月）」に関する報告があった。

(6) 薬学共用試験について

奥理事(薬学共用試験センター副理事長)から、「資料7」に基づき以下について報告があった。

① 2022年度薬学共用試験課題数の見直しについて

2022年度課題数は、「5領域6課題」で実施する予定であったが、COVID-19の感染急拡大に伴い、課題数を見直し「5領域から異なる領域の3課題」に変更した。

② 2022年度薬学共用試験 CBT 体験受験結果について

③ 新型コロナウイルス感染症に伴う「特別試験」の実施について

昨年度に引き続き「新型コロナウイルス感染症(COVID-19)に罹患あるいは濃厚接触者と認定されたこと等により、本試験あるいは追・再試験を受験できなくなった学生を対象」に、特別試験を実施する。また、COVID-19疑いのために受験できなかった学生も対象とするが、インフルエンザ等他の感染症、病気、怪我等の理由は対象としない。

- ・特別試験の実施及びその対象者の最終判断は大学が行うこととする。

- ・試験期間は、2023年3月13日(月)～3月26日(日)

④ 2023年度薬学共用試験実施予定案について

(7) 薬学教育第三者評価について

白幡薬学教育評価機構総務担当理事から、「資料8」に基づき薬学教育評価機構が主催する「6年制薬学教育の内部質保証に関するシンポジウム」(令和4年12月14日(水):オンライン開催)について報告があった。

(8) 日本薬学会について

中村副会長(日本薬学会薬学教育委員会委員長)から、「資料9」に基づき「学位(博士)取得者のキャリアデザインに関するワークショップ」(11月13日開催)の概要及び日本薬学会薬学教育委員会の令和5年度事業計画として、①「大学院進学促進事業」の企画・開催、②「大学での教育研究活動をサポートするFD」の企画・開催等について報告があった。

5. その他

(1) 第7回「日本薬学教育学会大会」の報告について

中村副会長(同学会副理事長)から、「資料10」に基づき令和4年8月20日(土)、21日(日)の両日、北里大学薬学部においてWEB開催された「第7回日本薬学教育学会大会(テーマ:薬学人のアイデンティティを探る～自己実現を志向する薬学教育～)」について、大会概要及び参加者数等の報告があった。

(2) 第8回「日本薬学教育学会大会」の後援名義申請について

中村副会長(同学会副理事長)から、「資料11」に基づき令和5年8月19日(土)、20日(日)の両日、熊本市内で開催される「第8回日本薬学教育学会大会(テーマ:薬学教育、次のフェーズへ～グローバルコラボレーションへの進展～)(大会長:森岡弘志熊本大学薬学部長)」について、本協会に対し後援名義の申請があり、これを承認した。

議長は、以上をもってすべての議案の審議を終了した旨発言し11時50分閉会を宣言した。

以上の議決を明確にするため、本議事録を作成し、議長及び出席理事(指名された議事録署名人)、監事がこれに署名捺印する。

令和4年12月20日

一般社団法人 日本私立薬科大学協会

議長 井上圭三
(押印済)

出席理事 杉林堅次
(議事録署名人) (押印済)

出席監事 富田基郎
(押印済)

出席監事 市川厚
(押印済)